

総務文教

厚生

審査の主なもの

○令和4年度八女市一般会計補正予算(第3号) 【全会一致で可決】

- ・総務費(避難所用資機材整備事業).....2812万円
- ・教育費(物価高騰に伴う学校給食等に関する負担軽減事業).....2155万円
- ・教育費(情報活用能力向上事業).....120万円
- ・教育費(白城の里旧大内邸改修事業).....4802万円

○地方財政の充実・強化を求める意見書採択のための請願 【全会一致で採択】

審査の主なもの

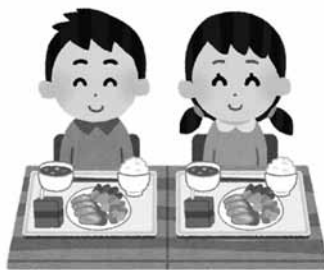
○令和4年度八女市一般会計補正予算(第3号) 【全会一致で可決】

- ・民生費(新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業).....240万円
- ・衛生費(抗原検査キット配布事業).....1184万円
- ・衛生費(新型コロナウイルスワクチン接種事業).....6444万円
- ・衛生費(妊産婦応援金給付事業).....2018万円

学校給食食材費の高騰分を支援

問 今後も物価高騰が続いた場合、次年度や年度途中に補助金を交付することは考えているか。

答 令和4年4月1日にコロナの臨時交付金を学校給食の値上げ分に使っても差し支えないという国からの通知に基づいてこの事業を提案している。従って、令和4年度についてはこの事業で対応できると考えているが、



来年度以降については、まだ国からの明文化されたいものはないため、情報収集に努め研究していきたいと考えている。

旧大内邸を改修し、新たな食の提供へ

問 改修するからには、八女の白木独特の料理を提供し、リピーターを増やす取組に力を入れていただきたいが。

答 現在、白木にお住まいの方を中心に9名ほどのメンバーで、規格外の食材を使った地元料理の勉強会をされており、厨房の整備後、来年の4月

から白木独自の食の提供ができるように努めていきたいと考えている。

避難所へ簡易ベッドを配置

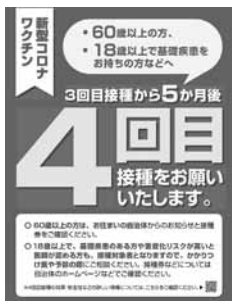
問 仕様・サイズ等はどういうものなのか。

答 広げるだけで設置可能な組立不要の収束型ベッドである。仕様・サイズ等は契約事務審査委員会で決定することとなる。

4回目のワクチン接種始まる

問 4回目のワクチンで、エッセンシャルワーカー、医療従事者の優先的な接種についての考えは。

答 医療従事者は、3回目接種まで先行接種されているので、現在接種時期にきており、一般の方に先んじて接種券を発送した。ただし、60歳以上や基礎疾患がある医療従事者、介護従事者に限定されている。



答 4回目接種の対象となる年代の方では、接種率が高い状況であるため、ある程度のワクチンの数量は確保しておかねばと考えている。

自宅療養者等を支援

問 対象者基準は。

答 陽性者の同一家族の方は濃厚接触者になり基本的に待機期間の外出が制限される。親戚など近

くに頼れる人がいない方は、食料を買いに出られない場合があるので支援を行っている。



議会の動き



5月

- 6日 議会だより編集委員会
全員協議会
議会運営委員会
- 18日 総務文教常任委員会
厚生常任委員会
- 23日 議会基本条例検証作業部会
市民アンケート調査委員会
- 25日 全国市議会議長会定期総会
- 26日 八女地区消防組合議会

6月

- 3日 議会だより編集委員会
議会運営委員会
- 8日 令和4年第3回定例会(招集日)
全員協議会
森林・林業・林産業活性化促進議員連盟
新型コロナウイルススクリーニング検査
市民と議会の意見交換会正副班長会議
- 13日 本会議(一般質問)～15日
- 16日 本会議(議案審議)
予算審査特別委員会全体会
議会だより編集委員会
- 20日 各常任委員会・分科会
- 21日 建設経済常任委員会
- 23日 予算審査特別委員会全体会
- 24日 令和4年第3回定例会(最終日)
全員協議会
議会運営委員会

7月

- 5日 議会だより編集委員会
- 6日 全員協議会
市民と議会の意見交換会正副班長会議
- 13日 議会だより編集委員会
- 20日 総務文教常任委員会
- 21日 厚生常任委員会
- 28日 八女地区消防組合議会

建設経済

審査の主なもの

- 令和4年度八女市一般会計補正予算(第3号) 【全会一致で可決】
 - ・商工費(交通事業者燃油高騰対策支援金)……………1200万円
 - ・商工費(福岡県宿泊税市町村交付金事業)……………1000万円
 - ・農林水産業費(農産物等消費促進事業)……………324万円
- 警備業従事者の処遇改善に関する意見書採択を求める請願 【全会一致で採択】

交通事業者を支援

問 対象事業者は。
答 バス、タクシー、運転代行の事業者で27件程を見込んでいます。

問 前回の事業との違いは。
答 令和2年度はコロナ対策で実施したが、今回は燃料高騰対策を追加し、支援をすることで、市民移送の安定にもつながるものと考えています。

問 交付限度額100万円に達する事業者数は。

支援の内容(バス・タクシー・随伴車)

乗車定員	1台当たり支援金(円)
11人以上	80,000
6人以上 11人未満	60,000
6人未満	30,000

※1事業者あたりの交付限度額:100万円

答 8件ほどになると思っています。

観光資源魅力向上

問 「べんがら村」は市民への還元が少ないとか、地場産野菜の売り場が狭いなどの声を聞くが、施設本来の目的に沿った運営を考えるべきでは。

答 20時以降は入湯料700円が400円になり、市民の利用が非常に多い。また、八女テラスの新設で、地元サークルのダンス教室などが行われており、健康増進につながっている。

していると考えています。レストランでは、地場産食材を使用し、月に1回開催しているマルシェで農産物の直売をしています。

※フランス語で「市場」を意味する。

地産地消の推進

問 事業費が前年度比で大幅減となっているが。

答 前年度は学校給食への食材提供に加え、花やお茶を市内各施設に展示及び配布した。今回は学校給食への食材提供に限定したことで減額となっている。